

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【連携事業】

幹事市町	鹿沼市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	宇都宮市、栃木市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、高根沢町、那須町	
事業名	自転車を活用した地域振興事業	
事業主体の名称※	自転車を活用した自治体連絡協議会	
代表者の名称※	増山 昌章	
事業主体の所在※	栃木県栃木市万町9番25号	
事業主体の概要	<p>団体の目的: 自転車を活用した地域振興に取り組む栃木県内の市町が連携して、情報交換や共同の取組を行うことによって、サイクリストの誘客や周遊の促進を図り、交流人口の増加や地域の活性化に寄与することを目的とする。 設立: 2018年7月3日</p>	
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・本県には、地域密着型のプロサイクルロードレースチームである宇都宮ブリッツェンと那須ブラーゼンが拠点を構え、県内各地ではプロレースや市民参加型イベントが開催されているなど、自転車を活用した地域振興の機運が高まりつつある。 ・個々のプロレースや市民参加型イベントの認知度は年々向上しているが、自転車先進県”とちぎ”としての認知が十分に浸透していない。 ・平成29年3月31日～4月2日には全国でも例の少ないラインレースである「ツールどちぎ」が開催され、平成30年度までに第3回が開催されたことから、これを契機として一層の誘客促進の取組が必要である。</p>	
事業目的	<p>・市町、NPO、プロチーム等と連携し、栃木県内のレース及び県内市町にかかる情報発信を行う。 ・複数の市町が連携することにより、より効果的なPRを行い、栃木県全体のイメージ向上を図る。 ・サイクリスト向けに県内市町の魅力をPRすることで、レース観戦や市民レース参加による県内への誘客のみならず、サイクリストの県内周遊を促進する</p>	
事業概要	<p>県内の市町が有志で集まり、これまで実施してきた取組を継承しながら連携パンフレットの制作し県内自治体や民間施設等に配布した。 【令和2年度】 (1) 自転車に関する施策等の情報交換 担当者会議を適宜開催し、自転車に関する施策等の情報交換を行った (2) 自転車に関する効果的な情報発信 ア. 広報物の制作: コロナ禍での自転車通勤等への関心の高まりを受け、自転車初心者向けのリーフレットを作成し県内各所に設置した イ. WEB媒体: ホームページ等の更新・管理を行った</p>	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>(宇都宮市)・人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る(年間観光入込客数 1,353万人(H22)→1,500万人(H34))【R1実績:1,476万人】 (栃木市)・本市への新しい人の流れを作る(主要観光地及び施設客入込数 365万人(H26)→380万人(H31))【R1実績:372万人】 (鹿沼市)・地域資源を活用した交流と移住・定住の促進(観光入込客数 331万人(H26)→450万人(H31))【R1実績:189万人】 (日光市)・地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる(観光入込客数 1,074.5万人(H26)→1,215万人(H31))【R1実績:1,183万人】 (大田原市)・大田原市への新たな新しい人の流れをつくる(観光入込客数 304万人(H26)→320万人(H31))【R1実績:342万人】 (矢板市)・来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる((交流人口 1,458,772人(H26)→2,000,000人(H31))【R1実績:188万人】 (高根沢町)・基本目標:就業機会の拡大.施策名:地域経済の活性化(元気あつむらの観光客入込数 352,084人(H26)→400,000人(H31))【R1実績:5.3万人】 (那須町)・産業振興による活力ある地域戦略(観光客入込数 4,707,029人(H26)→5,400,000人(H31))【R1年度実績:480万人】</p>	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	R1年度	R2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①検討会議の実施 ②広域リーフレットの作成 ③イベント間の相互出展 ④自転車ルートの造成 ⑤首都圏イベントへの出展	①検討会議の実施 ②広域リーフレットの作成 ③イベント間の相互出展 ④自転車ルートの造成 ⑤全国イベントへの出展(準備のみ)	①検討会議の実施 ②広域リーフレットの作成		①検討会議の実施 ②広域リーフレットの作成 ③イベント間の相互出展 ④自転車ルートの造成 ⑤首都圏イベントへの出展
事業費	1,650,000	1,722,952	1,389,357	4,762,309	1,389,357
市町支出金 (ソフト事業分)	1,600,000	1,600,000	800,000	4,000,000	800,000
うち県交付金	800,000	601,832	400,000	1,801,832	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	50,000	122,952	589,357	762,309	589,357

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活課交通対策係
担当者名	鈴木 さくら
電話	0289-63-2163
FAX	0289-60-1001
E-mail	seikatsu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支決算書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	自転車を活用した地域振興事業	
対象年度	R2	年度

1 収入の部

科目	決算額	備考
市町支出金	800,000	10万×8市町 (宇都宮市、栃木市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、高根沢町、那須町)
前年度繰越金	519,278	
雑収入	70,079	サイクルモード大阪出展備品返金、預金利子
計	1,389,357	

2 支出の部

科目	決算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	77,000	0	0	77,000	・WEB媒体運営管理
印刷製本費	1,023,000	800,000	400,000	223,000	・連携パンフレット等、紙媒体の制作
手数料	1,100	0	0	1,100	・振込手数料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
旅費	0	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	0	
次年度事業準備費	288,257	0	0	288,257	
計	1,389,357	800,000	400,000	589,357	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(連携事業支出整理票)

単位事業名	自転車を活用した地域振興事業																							対象年度	R2	年度
	科目	予算額 (精算額)	宇都宮市支出額		栃木市支出額		鹿沼市支出額		日光市支出額		大田原市支出額		矢板市支出額		高根沢町支出額		那須町支出額		自主財源等		自主財源等					
県交付金			自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	県交付金	自主財源等	自主財源等				
委託料	77,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77,000			
印刷製本費	1,023,000	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	223,000			
手数料	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100			
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
次年度事業準備費	288,257	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	288,257			
計	1,389,357	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	100,000	50,000	0	589,357			

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。